



区報 ふみみやこ

令和7年(2025)

1月1日

No.1851

新春対談



成澤 廣修
文京区長

宮本 恒靖
日本サッカー協会会長



2025年の新春対談は、公益財団法人日本サッカー協会会長宮本恒靖氏を迎え、文京区と日本サッカー協会との関わりや、ワールドカップへの思いなどを語っていただきます。
問広報課広報担当 ☎03-5803-1128



あけましておめでとうございます。

新たな年の始まりを迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

区民の皆様には、日頃から区政運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震に始まり、激甚化する豪雨災害、原油価格や円安による物価の高騰などが生活や社会経済に大きな影響を与えた一年でした。

令和7年度は、区民の皆様が安心して健やかに生活することができるよう、様々な施策に取り組んでまいります。

まず、安全で安心なまちづくりに向けて、区立小中学校の校門周辺等に誰でも24時間利用可能なAEDを設置するとともに、商店街が所有する街路灯の点検や修繕等に係る費用の一部を補助いたします。

また、町会等への加入促進や活動の担い手確保を支援するため、チラシやパンフレットを作成する際の補助等を拡充いたします。

さらに、旧元町小学校跡地には、様々な世代が集える地域の拠点として、公共機能と民間機能の複合施設である「元町ウェルネスパーク」

を開設します。

加えて、子どもの最善の利益を守るため、区立の児童相談所を開設し、切れ目のない総合的な相談・支援体制を一層整備するとともに、こどもの権利に関する条例の制定に向けた準備を進めてまいります。

なお、区では、令和6年度から9年度までを計画期間とする第2期の「文の京」総合戦略を策定し、区が解決すべき主要課題を明らかにするとともに、4年後の目指す姿を見据えた、取組の方向性や事業のロードマップを示しております。計画期間中であっても、柔軟に事業を組み替えるとともに、SDGsやSociety5.0の視点も生かしながら、社会状況の変化に適應する課題解決型の区政運営を推進してまいります。

結びに、本年が区民の皆様にとりまして、穏やかで幸多い一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

文京区長 **成澤廣修**

文京区民チャンネル (47分間)

☑ 1/1(祝・水)～3(金)9:10、12:10、18:10、21:10
1/6(月)～12(日)16:00、19:00

YouTube「文京区公式チャンネル」

☑ 1/6(月)から配信

YouTube
「文京区公式チャンネル」▶



問合せ 広報課CATV担当 ☎03-5803-1130

毎月10・25日発行

発行/文京区 編集/企画政策部広報課 〒112-8555 文京区春日1-16-21

代表 ☎03-3812-7111 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

☆区報1月1日号は新聞(朝日、毎日、読売、産経、東京、日本経済、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、サンケイスポーツ、デイリースポーツ、東京中日スポーツ)折込で区内世帯に配布しています。そのほか、区の施設に置いてあります。



宮本 恒靖(みやもと つねやす)
昭和52年(1977)生まれ。10歳から本格的にサッカーを始め、高校卒業後、ガンバ大阪入団と同時に同志社大学に入学。1995年からガンバ大阪で活躍し、2007年オーストリア1部リーグ・レッドブル・ザルツブルク、2009年ヴェッセル神戸に在籍。2002年ワールドカップ日韓大会と2006年ドイツ大会では日本代表チームの主将を務め、2011年12月現役引退。2024年3月23日、日本サッカー協会第15代会長就任。

宮本 恒靖 日本サッカー協会会長
成澤 廣修 文京区長



新春対談 2025

漢字1字で表す **リーダーに必要な要素**

和 **成澤区長**
最近、行政の場合は時代の様々な課題が複雑化してきて、回答が一つでない、解決策が一つでないケースが非常に増えていると思います。そういうときは、多くの人が色々な知恵を出し合って、解決するために合意形成をしていく作業がとても大切で、「和」の心がないとなかなか合意形成に努めることができないと思っています。

観 **宮本会長**
監督・選手のと看も、食事会場で必ず全体が見えるところに座って、誰と誰が喋っているのか、どういう食事を摂っているのかを「観る」ことで、チーム内の状態や空気を把握するようにしていました。今もJFAのオフィスでそういうものを観察しながら、人間関係であったり、誰と誰が目を合わせているのか、誰と目が合うのかなど気にかけています。

区長 あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。今回の新春対談は、現在、日本サッカー界の中心で舵取りをされている方に来ていただきました。公益財団法人日本サッカー協会会長宮本恒靖さんです。
宮本 文京区の皆さん、あけましておめでとうございます。今年もサッカーをはじめ、たくさんのスポーツを通して、健康的で幸せな1年にしてください。



▲サッカー教室の様子

パブリックビューイングを開催して、ゲストを派遣していただいています。また最近では、昨年の8月に先ほどもお話ししました小石川運動場にサッカーゴールを寄贈いただき、宮本さんにも来ていただいて、一緒にキックイン・セレモニーを行いました。



▲サッカーゴール寄贈式

さらには、昨年1月に能登半島地震が起きしましたが、JFAの皆さんが中心となって、「JFA×文京 Dream Project」ということで、夏に能登の輪島の中学生を文京区に招いて、様々な交流イベントを行いました。
司会 これはどういったイベントだったんでしょう？
宮本 能登の被災した中学生に来てもらい、文京区の中学生と一緒に交流して、楽しい時間を過ごしてもらおうことで、ちょっとでも元気になってもらえたらとイベントを企画しました。
司会 子ども達の様子はいかがでしたか？
宮本 被災した方達は、もともといた自宅がなかったりしますし、環境を変えて、東京ドームでプレーできて、かなり気分転換になったと聞いています。
司会 イベントには日本代表のOBやOGも参加されたと同いいますが？

宮本 日本サッカー協会としては能登半島地震で被災した方達をしっかりとサポートしていきたいというプロジェクトを立ち上げていますので、みんなが協力してくれて、OBやOGも頑張ってくれています。
区長 私も東京ドームを見に行ったんですけど、サッカーのみならず、色々なプロスポーツの日本代表の方達が協力してくれて、子ども達を喜ばせるために東京ドームの人工芝の上と一緒に駆けずり回って、精一杯ご協力いただいたのは記憶に新しいです。
司会辛い中でもそうした少しでも楽しいことがあると、子ども達もほっとしますよね。
宮本 そういった時間を、サッカーなりスポーツを、みんなでやることで提供できるのが、我々の強みなのかなと思います。

ワールドカップ

司会 宮本さんに来ていただいたからには絶対に聞きたいと思っていたのが、ワールドカップの話です。前回のカタールワールドカップの決勝戦は、世界中、およそ15億人が視聴し、注目を集める大きなイベントとなりましたが、選手としてはとんでもないプレッシャーがかかっていたのではないのでしょうか？
宮本 プレッシャーはあったと思いますが、あまり感じなかったというか、それよりもそういった舞台でやりたいとか、わくわく感が大きかったですね。
ただ、2002年日韓ワールドカップの初戦ベルギー戦で初めて自分が途中出場した試合は、入ったときの空気が重かったですね。重く感じるぐらい、体が緊張していた。それまで感じたことがなかったようなものがそこにはありました。プレーが始まったら大丈夫だったんですけど、これがワールドカップの重みなのかなと思いました。
司会 いわゆるスポーツ選手がゾーンに入っているというあるじゃないですか。そのときは感じられたんですか？
宮本 2戦目のロシアとの試合は、自分の中でゾーンに途中から入った感覚があって、自分と相手、ピッチの緑があって、周りは黒くて暗闇の中でやっている。お客さんの声も聞こえない、そんな中で集中してやっていたと思います。自

分がゾーンに入ったのは3回ぐらいで、1回がその試合でした。
司会 グループステージを戦う中で、当時のトルシエ監督のディフェンスラインを高く設定する、フラットスリーという戦術が相手に相当研究されていて、危機的な状況に直面していたと聞きましたが？
宮本 相手も勝ちたいので弱点を探してくる。フラットスリーの戦術そのものは変えないんだけど、ちょっと微調整しようよと。監督が言うほどオフサイドを取りに行かないけれど、こっちの方が多分うまく守れるだろう、それが日本の勝利に繋がるし、監督の評価にも繋がるので、そこが自分達のやれるところじゃないかと、選手達でお風呂の中で話して決めました。
司会 お風呂でというのは、何か気持ちがほぐれることがあるんですか？
宮本 よくみんなで露天風呂に入ったんですけど、誰かがこう思ってるけどって言い出したときに、自分もこう思うと、結構みんなの意見が一致したことがありました。
司会 そして迎えたグループリーグ2試合目のロシア戦、宮本さんご自身もこの試合をキャリアの中のベストゲームの1つに挙げられています。どのようなゲームだったのでしょうか？
宮本 6万人以上のお客さんが横浜のスタジアムに集まってくれて、ロシアに1対0でディフェンスとしては1点を守り切るしびれる試合だったんですが、自分達の集中力が最後まで切れずに戦って、勝った瞬間は本当に喜びでした。
区長 その時のことは覚えてる。興奮が蘇ってくる気がします。日本の初勝利ですからね。
司会 日韓大会ベスト16という成績を残し、さらに膨らんだ期待の中で臨んだドイツワールドカップでしたが、惜しくもチームの目標には届かず、グループリーグ敗退という結果を、当時はキャプテンとしてどのような思いでしたか？
宮本 選手達の力はあったと思っていますが、その力をうまく引き出せなかったところは心残りの部分がありました。振り返ると2002年に日本でやった日韓ワールドカップはホームだったので、我々はすごく守られていたんだと思うんですね。
逆に2006年のワールドカップは、ボン市内のホテルに泊まって、フロアが違うけどお客さんがいたり、ちょっと気分転換に散歩に出る

とたくさん人に囲まれたり。どんなシチュエーションでも、淡々とできるような選手を集めないといけない。そういうことの積み重ねが、その国のサッカーの強さに繋がっていくんだなと気づかせてくれた大会でした。
区長 私は実は2006年のドイツ大会は見に行ってるんです。ドイツのカイザースラウテルンと文京区は姉妹都市です。当時の煙山区長が、文京区の子供達にワールドカップを見せてあげたい。ところが、カイザースラウテルンで日本戦が行われると決まってから、チケットを手配したのでは当然間に合わない。どんな試合でもいいから見させてあげたいという思いで訪問団を組んで、文京区の少年サッカーの子供達を連れて行って、現地の子供達と練習試合して、それがきっかけで文京区では、「カイザースラウテルン市長杯」という小学生の大会をいまだにやっています。
日本対オーストラリア戦、当時史上最強と言われたチームですよ。後半、試合終了ぎりぎりまで1対0で、リードしていたのがそこから3点を入れられたんですよ。試合はああいう負け方をするのかと思いましたが、今のお話を聞いてると、あらゆる意味で、大会の不調に繋がってしまうのが、選手だけの問題じゃなくて、色々な要素が重なり合っていたということですね。
宮本 大会に出場するのがまだ2・3回目というところで、マネジメントの経験も国として少なかつたと思いますし、そこではわからなかったことが、あの大会でわかって、その後を生かされたと思います。例えば、ホテルやキャンプ地をどういうふうに変えなきゃいけないのかというところは、その後もう一度検証して変わってきたところがあります。
司会 現在、日本代表は2026年のサッカーワールドカップ本大会に出場するため、最終予選の真っ只中ですが、今回の予選に臨んでいるメンバーや、予選の展望をお聞かせください。
宮本 現在の代表チームは9割近くの選手が海外でプレーしていますし、日常的にレベルの高いところでやっていると。史上最高・最強なのかと言われるかもしれませんが、それに近い、それを感じさせるような戦いぶりを去年のワールドカップ予選でもしてくれています。今年はそれ以上のパフォーマンスを見せて欲しいなと期待しています。

スポーツの発展

司会 Jリーグが開幕して早31年になりますが、今後さらに日本サッカーを盛り上げるためには何が必要だと思いますか？
宮本 男女ともに代表チームが強くなり続けることがすごく大事だと思います。代表チームの活躍を見て、自分もあんな選手になりたいと思ひサッカーを始めることに繋がっていくと思うので、代表チームが強くなるための施策、育成の強化を継続的に行う必要があると思っています。
司会 今、協会ではどのような指針を立てて、どんな活動をされているんでしょうか？
宮本 代表を強くすることだけでなく、キッズ・女性・シニアを重点領域と捉えて、サッカーを始める方を増やすことや、環境を整えることを行っています。

今年の抱負

司会 最後に、宮本さんと区長から、区民の皆さんへメッセージをいただきたいと思ひます。
宮本 2025年もサッカー界は非常に重要な試合が続きます。ぜひ応援していただけたらと思ひます。
区長 サッカーのみならず、今年はスポーツイヤーでもあるんですね。世界陸上やデフリンピックが日本で行われますので、平和な社会でスポーツを楽しむ環境にあることを皆さんが共有できるような1年にしたいと思ひます。

PRESENT
宮本恒靖さんのサイン色紙を抽選で5人にプレゼント!

対区内在住者
①申元電子申請又は、はがきに①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号⑤区報ぶんきょう・文京区民チャンネルの感想を明記し、〒112-8555文京区広報課広報担当☎03-5803-1128へ
▶申込期間 1月6日(月)～20日(月)
※当選者の発表は、色紙の発送をもって代えさせていただきます
※無断販売・転売は固くお断りします

▲申込はこちら

※対談内容は口述筆記ですが、紙面の都合上、若干の言い回し等の変更と一部省略をさせていただきました。

今年は何び年! メディアパートナー*による へびにちなんだスポットとその周辺めぐり

現在、メディアパートナー区報グループで活動している
青木さん、板橋さん、木村さん、嶋田さん、橘さんが紹介します。

*メディアパートナー:より身近で開かれた広報を目指して、区の広報活動にご協力いただく
区民の皆さんを「メディアパートナー」として区が委嘱し、活動していただいています。



▲活動風景

須藤公園...青木さん...

千駄木駅の近くにある「須藤公園」は、江戸時代の加賀藩支藩、大聖寺藩の下屋敷跡で、住宅街の中に突然現れる趣のある日本庭園です。公園内の高台から流れ落ちる滝の水が庭園の中央にある池に流れ込み、池の周りの遊歩道から様々な景観を楽しむことができます。

今年の干支である「へび」の目撃が確認されたこともあるので、運が良ければ見ることができるかもしれません。



▲須藤公園

森鷗外記念館...橘さん...

森鷗外記念館は「観潮楼」跡地に建ち、現在は門柱礎石、庭石などが残っています。陸軍軍医であった鷗外はこの地で30年にわたり家族と暮らし、軍医総監を務め、多数の小説等を執筆しました。コンクリート打放しの記念館には展示室、図書室などがあります。

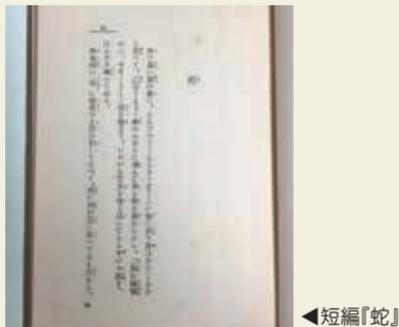
鷗外の短編小説『蛇』は、長野の旧家の主人、嫁、姑の話で、亡き姑を思わせる蛇が出てきます。逗留中の主人公は迷信だとして蛇を魚籠に捕らえ、世代間の齟齬を残したまま話は終わります。

現代でも科学的合理性で全て説明できるものではありません。新年に、鷗外が発表した新旧の時代の違和感を読んでみてはいかがでしょうか。

画像:鷗外著『走馬灯』(杵山書店、大正2年)より(森鷗外記念館所蔵)



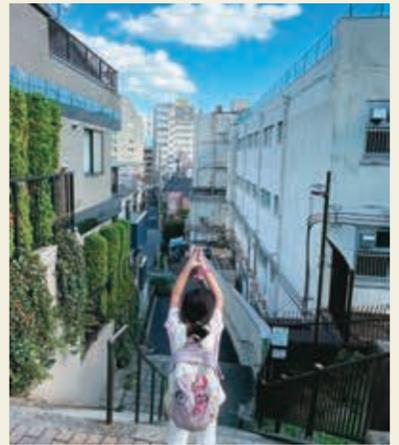
▲森鷗外記念館



▲短編『蛇』

しろへび坂...木村さん...

第八中学校の隣にあるこの坂は、地元では「しろへび坂」と呼ばれることがあります。一説では、上段・中段・下段の3つの階段とそれぞれの階段を繋ぐ平坦な舗装路がまるで蛇のように見えることが名前の由来とされています。ここからの景色が、文の京都市景観賞(ふるさと景観賞)に選定されました。天気が良ければ坂上から目線の先にビルの谷間に挟まれたスカイツリーを見ることができます。名前の由来やスカイツリーの景観を是非体感してみてください。



▲しろへび坂

へび道...板橋さん...

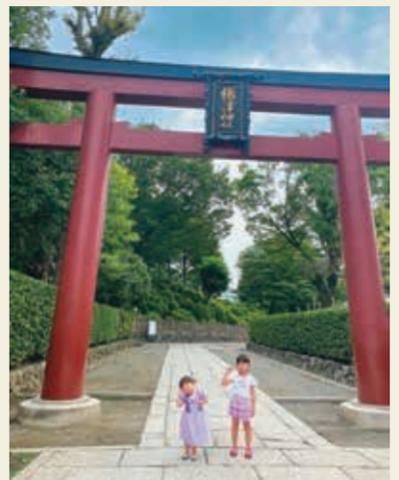
「へび道」は、まるで蛇のようにクネクネと続いています。道幅は車が1台通れる程度の細い道で、かつては藍染川という小川が流れていました。大正10年(1921)から暗渠工事が開始され、道路になりました。また、夏目漱石の小説『三四郎』や森鷗外の小説『雁』の中にも藍染川が登場しています。都心とは思えない下町情緒を感じられる道です。オシャレなお店も点在しています。ぜひ、週末にのんびりお散歩してみてください。



▲へび道

根津神社...嶋田さん...

江戸の大火や関東大震災、東京大空襲をもくぐり抜けた強運の神社として知られ、つつじの名所としても有名です。江戸時代に五代将軍の徳川綱吉が行った大造営により完成した、本殿・幣殿・拜殿など7棟が現存し、国の重要文化財に指定されています。社殿前にある「願掛けカヤの木」には、神の遣いとされる白い蛇が住んでおり、願い事をするとうとうという言い伝えがあるとか。最強運スポット「根津神社」で、新年の運氣アップをしてみてください。



▲根津神社

成人の日記念 はたちのつどい

はたちの皆様のご参加をお待ちしています

日1月13日(成人の日) 午前11時~正午 会シビックホール大ホール
対平成16年4月2日~平成17年4月1日生まれの区内在住者▶成人の日記念ライブ 野田愛実in 文京、湯島天神太鼓▶設置コーナー 区立小・中学校からのメッセージ、記念写真、行政PRコーナー等

※詳細は招待状参照
※招待状が届いていない場合、至急区民課へ
※式典の一部をライブ配信(予定)

区民課 地域振興・協働推進担当 ☎03-5803-1170



▲詳細はこちら



▲野田愛実氏

「はたちの献血」にご協力ください

1月1日~2月28日は、
はたちの献血キャンペーン期間

冬は寒さで体調を崩す方が多く、血液確保が厳しくなります。多くの皆さんに、献血のご協力をお願いします。

日1月8日(水)①午前10時~11時30分②午後1時~4時 会ギャラリーシビック 申電子申請又は当日 直接会場へ 日本赤十字社東京都赤十字血液センター 献血推進課 ☎03-5272-3523、献血推進協議会事務局(生活衛生課) ☎03-5803-1223



▲予約はこちら